



お元気ですか

志村 たかよし です

第553号 2011年8月14日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

日本共産党都議団が都知事に申し入れ

都の責任で「食品の放射能検査」と「内部被ばく対策」の強化を

都知事への申し入れ項目

- ▽食品表示に放射能検査済みマークの導入
- ▽食品の放射能検査および安全確保対策の抜本的強化
- ▽学校、幼稚園、保育園などの給食の食材の放射能検査の支援
- ▽入・出荷する牛の全頭検査の実施
- ▽新米の安全確保対策・放射線検査
- ▽肉類、野菜、魚介類、牛乳、水、土壌などの放射能測定ができる検査機器、および専門職員の大幅増
- ▽ゲルマニウム半導体検出器にくらべて安価で、検査時間が短いヨウ化ナトリウムシンチレーションスペクトロメータなどの簡易分析器を早急にふやす
- ▽食品や水の暫定規制値をよりきびしいものへ見直すよう国への要請
- ▽母乳、子どもの尿中のセシウム含有量の測定の体制整備

放射性セシウムに汚染された牛肉があいついで確認され、不安がひろがっています。

東京に出荷され、すでに店頭で販売されたものも少なくありません。

政府は、全頭検査もしないで食の安全が確保されていると表明してきましたが、その「安全宣言」

に追隨してきた都の責任は重大だとして、日本共産党都議団は、8月2日、牛肉などの「食品の放射能検査」と「内部被ばく対策」を強化するよう、石原都知事あてに申し入れを行いました。



子どもの健康を守る立場で

対策強化を

日本共産党都議団が7月25日に発表した都内東部地域の放射線量測定では、草地や道路わき、公園のすべり台下、砂地・砂場、くぼ地などを中心に、地表5cm高で年間2ミリシーベルトに相当する地点が90ヶ所(測定地点の51%)におよんでいました。

環境中の放射線による外部被ばくの影響と、土ぼこりやチリなどを吸いこむことで放射性物質が体内に摂取されることによる内部被ばくにくわえて、食品や飲み物をとおした内部被ばくの影響をうけることへの対策が重要となっています。

放射線による深刻な被害を受けやすい子どもたちを守るために、食品の放射線測定器を増やすなど国や都、区による対策の強化が早急に求められています。

7月には施設の視察を行いました



銀座三越の地下にある水や食料等の備蓄倉庫



日本橋船着き場に接岸している「かわせみ」

7月13日、企画総務委員会は日本橋船着き場を利用することになった水上バス「かわせみ」の試乗と銀座三越地下の防災備蓄倉庫の視察を行いました。



20周年を祝う飾りがあちこちにありました



人形町保育園の園庭は室内。プールは屋上

少子高齢化対策特別委員会は、7月22日に人形町保育園・高齢者グループホームの複合施設と開設20周年を迎えたマイホームはるみを視察しました。



宇佐美学園のプール



宇佐美学園の勉強室

4月の選挙で選ばれた新しい区議会による管外視察が7月4日5日に行われ、ヴィラ本栖と伊豆高原荘、緑に囲まれた宇佐美学園（伊東市）を訪れました。

ご意見、ご要望など、お気軽にご連絡ください(05566-0600)



柏学園の「さつまいも畑」



ヴィラ本栖の宿泊施設を外から視察

7月12日には、柏学園を視察しました。柏市には放射線量が低い「ホットスポット」があります。施設の土壌、作物もしっかり検査する必要があります。